

平成27年度 第4回東部地区幼稚園教員・保育士等の合同研修会

「幼保・小の円滑な接続をめざして」

日時：平成27年8月7日（金）

場所：県教育センター

【ねらい】

小学校教諭の保育園における長期社会体験研修の実践発表及び意見交換を通して、幼児教育と小学校教育の円滑な接続について相互に理解を深め、各地域の実情に応じた幼保小連携の推進を図る。

【研修の様子】



1 実践発表

「育ちと学びをつなぐ ～小学校教諭の保育園における長期社会体験研修での取組を通して～」

〈発表者〉鳥取市立美保小学校 教諭 松川 智子

鳥取市立美保保育園 副園長 西川美佐絵

○保幼小連携の課題を受けての取組

①保育体験（5歳児を中心に）

②年長児とのかかわり

・からだ元気ランド→**身体作り**

・絵本の読み聞かせ→**自然への興味付け、聴く力の育成**

③保小交流（子ども同士の交流）

・1、5年生と年間2回ずつ実施

1年・・・（10月）クイズ大会、学校探検（2月）昔遊び、授業見学

5年・・・（5月）一緒に遊ぼう（2月）手作り紙芝居の読み聞かせ

④職員の連携

・保小連絡会（年4回）・小学校教員の保育参加（夏季休業中）

⑤職員・保護者への発信

⑥スタートカリキュラムの改訂

・弾力的な時間の活用（手遊びや読み聞かせ）

・合科的・関連的な学習

⑦保小連携計画の作成

○今後に向けて

★保育方針・教育方針の理解、連携のねらいを共通理解

★交流のあり方やねらいを検討、互恵性があるとともに無理なく継続できる取組

★職員同士の緊密な連絡相談



一人一人のかかわりがもてるような活動の工夫



保小交流会

保育参加後は、保小職員同士の意見交換を実施



保育参加



2 グループ協議

〈テーマ〉育ちと学びのつながりを理解し、連携を進めるための今後の方向性を探る

○おすすめの取組とその成果を紹介し合う。

○課題を出し合い、課題解決に向けての今後の取組を話し合う。

・担任だけではなく、園・学校体制で連携を進めていくために、連携の窓口を明確にする。

・互恵性のある交流となるよう、交流のねらいをお互いがはっきりとつ。

【参加者の感想】

○小学校との交流があまりできず悩んでいたが、実践発表や情報交換等でいろいろな交流の仕方を知ることができた。今後も、自分・自園のできる方法で交流をしていきたい。

○園や学校の体制、管理職の意識が連携に大きくかかわると思う。何より子どもたちのために、組織全体で進めていきたい。

○交流にあたっては、何のために交流するのか、交流をすることによってどんな力をつけるのかをはっきりして取り組みたい。

○小学校・保育園・幼稚園同士がもっと話す機会を作って、お互いの

思いや活動を理解し合い、子どもたちがよりスムーズに学びをつなげていけるようにしたい。

子どもたちが安心して園・学校生活を送るために、連携を進めていきましょう。

